

【診療科:消化器外科】
 【レジメン登録番号:SG-3】

〈 CDDP+フルオロウラシル療法(FP療法【食道癌用】) 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																
			1	2	3	4	5	6	7	8	21(28)							
シスプラチン	80mg/m ²	div	○																
フルオロウラシル	800mg/m ²	div	○	○	○	○	○												

【1コース期間:術前補助 21日,術後、手術不能・進行・再発 28日】

【総コース数:術前・術後補助 2コース,手術不能・進行・再発 6コース】

【適応癌種:食道癌】

【時期:術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	リナセートF 500mL	div(3時間で)
Rp.2	リナセートF 500mL	div(3時間で)
	静注用マグネゾール 1A	
Rp.3	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(30分で)
	デキサート 9.9mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	マンニトールS 300mL	div(30分で)
Rp.5	シスプラチン 80mg/m ²	div(2時間で)
	生理食塩水 500mL	
Rp.6	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.7-①	リナセートF 500mL	div(3時間で)
Rp.7-②	フルオロウラシル 800mg/m ²	div(24時間で)
	生理食塩水 500mL	
Rp.8	リナセートF 500mL	div(3時間で)

<day2~5>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ R Blocker 1A *	div(30分で)
	デキサート 6.6mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	フルオロウラシル 800mg/m ²	div(24時間で)
	生理食塩水 500mL	

*1日目がパロセトロンの場合は不要

【参考文献:Ann Surg Oncol (2012) 19:68-74、Jpn J Clin Oncol.2015, 45(5) 494-498

【備考:維持ルートは、別途注射カレンダールより、オーダされる。】

【備考:第1日目のRp.5の生理食塩水の量はシスプラチンと合わせて500mLとなるようにする。】

【備考:手術不能・進行・再発に対し施行する場合は、効果が認められれば、6コースまで施行する。】

【備考:2012年5月10日開催第1回化学療法委員会にて、各日のデキサートの量を、8.25mgから6.6mgへ変更、ソリューゲンF削除について承認。】

【変法情報: